

1923
2011
1 / 1 ・ 15

府職の友

発行所／大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人／平井 賢治 編集人／小山 智美
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

新春 合併号

お母さんの気持ちに寄り添って

未熟児や身体障がい児の支援は経験を積んだ

チームでこそ

枚方保健所の母子チーム

年間3600人くらいの赤ちゃんが生まれる中、そのうちの350人くらいの未熟児と、150人くらいの身体障がい児を支援しています。最近、不妊治療や未熟児の医療、障がい児の医療が目覚しく進歩し、1000g以下(超未熟児)で生まれる子どもたち、人工呼吸器や気管切開など高度な医療を受けながら地域で暮らしている子どもたちが増えてきました。しかし、育児は相変わらず家族の

みで、社会資源は十分ではありません。お母さんが疲れてしまうと事故や虐待が起ころしなにかと気がかりです。介護負担軽減のレスパイト施設の充実、低年齢でもヘルパーさんが活用できること、リハビリができるシステムなど、子どもと家族が安心して暮らせる街づくりが必要です。

4人の母子専門チームで支援しています。しかし、気がかりなケース、対応が難しいケースなどが多く、みんなで対応策を考え、複



野田道子さん

しています。(野田)

大阪府に入庁して5年目の保健師、野崎さんのある一日

朝は病院のNICUで未

熟児の赤ちゃんとお母さんに面接。シングルマザーで、早産、双子を出生。病院の協力も得て、退院前から顔合わせをすることで、退院後の訪問がスムーズになります。

お昼からは未熟児の訪問。10代のお母さん。退院後ミルクを飲まず体重が減りましたが、お母さんが入院を拒否したため、自宅に保健師が定期的に体重を量りに行くことになりました。

体重は順調に増えていて安心。想像を超える生活をしているお母さん。どんなアドバイスができるだろう...と思いつつ、お母さんの気持ちに寄り添い支援しています。保健所に戻ると、里帰り出産のお母さんから他県へ帰りますとの連絡。心臓に病気があり、最後の挨拶をしました。

実は、これは平和な1日です。母子では複雑なケースが多く、家に帰っても、食事が喉を通らないくらい不安になることもあります。が、先輩に助言をいただいで、少しずつ前に進む。大変な毎日ですが、周りの先輩に支えられて頑張っています。

府民の暮らし支えて 最前線で がんばる府職員

大阪府の出先機関で、府民と直接関わり、支援を行っている職員。その仕事の1日を追いました。



野崎真美さん

入所したケースについて、家庭裁判所調査官、施設職員と協議

18時30分 B情緒障がい児短期治療施設訪問。施設職員と連絡調整

19時30分 子ども家庭センター到着。24時間児童虐待通報が入り現認のため、緊急に家庭訪問出発

20時 家庭訪問到着。現認実施。親子との話し合い

22時 家庭訪問終了

22時20分 子ども家庭センター到着。退庁

緊急対応に奔走

児童虐待相談・保護受け入れ体制の充実願って

子ども家庭センターケースワーカー(児童福祉司)

児童福祉司Aさんのある一日

8時30分 登庁
9時15分 庁内で児童虐待に関する研修
10時30分 研修中に緊急ケ



大阪府中央子ども家庭センター

大阪府子ども家庭センターの児童相談部門「児童相談所」は、児童福祉法に基づき満18歳未満の児童に関する相談およびおむね25

一人あたりの担当件数が全国の児童相談所の中でもトップレベルにあり、かつ、都市部特有の重篤なケースが多いことが特徴です。特に社会問題化している児童虐待相談は、従来からの件数が多いことに加えて、橋下知事が「積極的な虐待通報を。積極的な保護」と積極的な広報活動を行ったことで激増しています。そんな中、日々、訪問、相談、関係機関との連絡調整

10時30分 研修中に緊急ケ

遊歩道

明けましておめでとうございます。本年も「遊歩道」をよろしくお願ひします

▼皆さんは年末・年始をいかが過ごされたでしょうか。私は、毎年80歳を超えた両親の住む田舎で、年末は正月の餅をつき、神棚を飾るしめ縄を造り、正月3日の朝は、毎日お雑煮の生活です。新年を迎えそれぞれの方が、今年の決意や抱負をお持ちになり、神社・仏閣にお参りになったり、家族と語りあったりしたのではないのでしょうか▼毎年、マスコミヤ雑誌では、何々年(干支)の過去の出来事、有名人の年男・年女は誰で、性格はこのようなのが多い。などと予想や傾向・特徴が載せられる。歴史を思い、今年をこんな年にしたいと考える人に夢や期待を持たせる内容の記事である▼しかし、ある意味、観念論的で、神仏・占い、精神論が多くを占め、大衆をある方向に導こうとする報道になっているように思える▼今年、一斉地方選挙の年です。地域主権が叫ばれる今日において、自治体の職員として、はつきりと意志を持って、住民の生活と暮らしを守る立場で候補者を選び、明るい年にしたい。(T)